

新チャレンジ章「ハイウェイナビゲーター」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など5つの分野で全40種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わることになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・ハイウェイナビゲーターとは

食べ物や衣服など、自分たちの生活に必要なものは「道路」を通じて私たちの手元に届きます。地域と地域とをつなぐ道路の種類には違いがあること、道路を安全・快適に利用できるよう多くの人によって守られていることを知っていますか？



高速道路を通じて地域社会の発展と暮らしの向上を支える、NEXCO 東日本とともに、私たちの地域や道路の今と未来について一緒に考えましょう。

高速道路の機能や役割を学んだうえ、未来の高速道路の姿も描いていただき、「ハイウェイナビゲーター」のバッジ取得にチャレンジしてみてください。

Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

ハイウェイナビゲーターでは、**地域と地域をつなぐ高速道路の役割**や**人やモノの移動を支える仕組み**について知るきっかけを作ります。

高速道路が与える**環境に対する影響**について考えたり、**住み続けられるまちづくり**を意識した**未来に向けたアイデア**をまとめるなどの細目を用意しました。

このプログラムでは、家族や仲間と共にとりかけたり、人やモノが安心して届けられたりと、**インフラとしての高速道路の役割**に気づくことを目標としています。



【プログラムと細目の関連性】

1. 高速道路と一般道路（国道、県道、市町村道等）との違いを3つ以上調べる。
⇒自分たちの地域にある道路に関連づけて、その違いを調べてみましょう。
2. 身近な商品や食べ物が、どのようなルートで運ばれてくるか考え、地図でたどる。
⇒好きなものの生産地と自分達の地域がどの程度離れていて、どのように道路でつながっているのかを地図でたどってみましょう。
3. 人または、環境にとって、高速道路が与える良いことと悪いことをまとめる。
4. 未来の高速道路で実現してほしいことを家族や仲間と話し合い、そのアイデアを発表する。
⇒人にとって良いことが環境にも良いとは限らない、自分たちの未来を考えて、人や動物にとって住み続けられるまちや自然、それをつなぐ高速道路がどのように変わっていくのか、みんなでアイデアを出してみましょう。

・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。



・組集会での取り組み

親子で調べた未来のまちについて組の中で発表してみましょう。そのうえで**組の仲間と共有し、より良いアイデアを出し合い**、紙にまとめてみましょう。

・家庭での取り組み

必ずしも車を所有しているとは限りませんが、車に乗って出かける機会が多いのがご家庭でしょう。**未来の自分たちのまち**について親子で調べたり、**環境に配慮するアイデア**について話をきいたり、話題にしてみましょう。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「ハイウェイナビゲーター宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

・制服への着用

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

ハイウェイナビゲーターを着用するという事は、地域と地域をつなぐ役割を知り、自分の進む道を決めることのできるスカウトの証です。ハイウェイ（高速道路）という新たな視点のプログラムを通じたスカウトへの成長の機会としてください。

・使ったワークブックは

ハイウェイナビゲーター宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと進んでからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動の様子を、ぜひ写真を含めてお知らせください。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Webサイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意：団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

新チャレンジ章は、企業・団体とのタイアップによるものであり、皆様からいただいた報告内容が次年度へのつながりや、新たなテーマへとつながっていきます。

【報告いただく内容】

<必須事項> 所属（県連盟・団） 報告者氏名 実施日時 概要・展開
バッジ取得スカウト数 スカウト宣言

<任意事項> 展開方法 スカウトの気づきや声 指導者の気づきやご意見
活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）